

マーケットの動き（2026年10月12日～10月16日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。米長期金利の低下に伴い日米金利差の縮小が意識されたことに加え、国内外の株式市場が軟調に推移し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことで、持ち高調整などを目的とした円買いが入りました。一方、中東情勢の先行き不透明感を背景とした原油価格の高止まりは、円相場の重荷となりました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2026年10月）

米ドル、ユーロはともに円に対してレンジ内での動き

米ドル、ユーロ：FRB（米国連邦準備制度理事会）、ECB（欧州中央銀行）、日銀の追加利上げの時期が注目される中、当面は日米通貨当局の円安阻止を目指す発言が意識されますが、日本の財政拡張政策は維持されるとみられることもあり、ドル、ユーロともに円に対してレンジ内での動きになるとみています。

	10月16日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	157.93	▲0.48	2.82	▲1.33	7.16
ユーロ/円	177.72	0.36	▲1.25	▲9.75	1.66

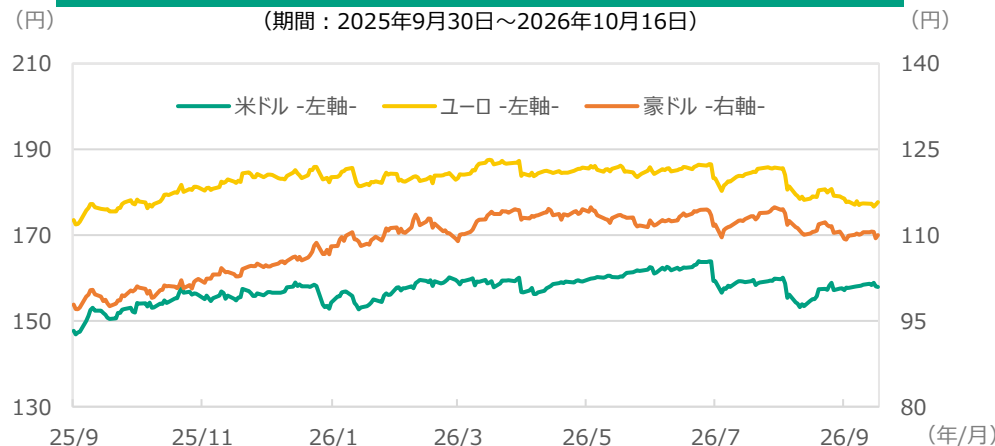
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202610_outlook.pdf

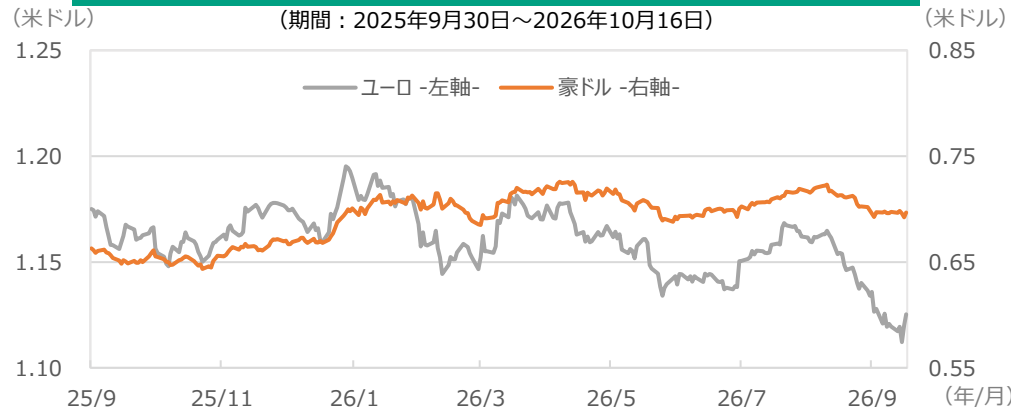
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2025年9月30日～2026年10月16日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2025年9月30日～2026年10月16日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>